

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間につきましては、情報機器事業においてオフィス分野及びプロダクションプリント分野のカラー機の販売が国内外市場で好調であったことにより、当社グループの連結業績は公表しました利益予想を上回りました。一方、通期業績につきましては、第3四半期以降の国内外の経済情勢の動向、当社関連市場の市況変化、為替の動向等をもとに平成23年5月12日発表の通期業績予想の見直しを行い、下記の通り修正いたします。なお、この修正の前提となる第3四半期以降の為替レートにつきましては、前回予想からUSドルを2円、ユーロを10円それぞれ円高に見直し、「1USドル=78円、1ユーロ=105円」と想定しております。

〈今回の業績見直しの概要〉

売上高につきましては、為替前提を円高に見直したことで為替換算による売上減少の影響を受けること、また各事業分野において景気後退懸念に伴う需要減退や市況悪化等による販売数量減のリスクを織り込み、前回予想から300億円減額修正いたします。営業利益につきましては、為替の円高影響及び上述の外的要因による減収影響を織り込み、20億円減額修正いたします。経常利益につきましては、当期間に発生した為替差損を織り込み、40億円減額修正いたします。当期純利益につきましては、特別損益及び税金費用等を見直し、10億円減額修正いたします。

なお、本年10月に発生しましたタイでの大規模な洪水の影響につきましては、当社グループは当該地域に生産拠点を有しておらず現時点では直接的な影響は見込んでおりません。しかしながら、当社事業の関わりの中では、同地域に生産基盤をもつ各種完成品及び電子部材のサプライチェーンの今後の復旧状況には注視を要するものと認識し、当社業績に著しい影響が生じた場合は速やかに開示いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	億円	億円	億円	億円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,100	420	390	200	37.72
今回発表予想 (B)	7,800	400	350	190	35.83
増減額 (B-A)	△300	△20	△40	△10	
増減率 (%)	△3.7	△4.8	△10.3	△5.0	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	7,779	400	331	258	48.84

※上記業績予想は、本資料の発表日現在における将来に関する前提・見通し・計画に基づく予想であり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は当社を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動など様々な重要な要素により、これら業績予想とは大きく異なる可能性があります。

○ 定性的情報における記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更)

前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、現金同等物に含める短期投資の範囲を、取得日から3ヶ月以内に償還期限の到来する短期投資から、取得日から1年以内に償還期限の到来する短期投資に変更したため、前第2四半期連結累計期間と当第2四半期連結累計期間で資金の範囲が異なっております。

この結果、前第2四半期連結累計期間は、変更後の方法によった場合と比べて、現金及び現金同等物の四半期末残高が、642百万円少なく計上されております。